

本紙一週二回發行

訂閱 半年 壹拾元	訂閱 全年 貳拾元
-----------------	-----------------

所行發

東京市 四六七〇番地 電話七五	青島市 一六六號 電話七五
-----------------------	---------------------

伯刺西爾時報社

日本代表引揚

盟 聯

聯盟規約第十五條

第四項に基き作成

百萬の移殖により滿洲繁榮の問題が解決せられたる以上、このこの地方は今日當然支那の領土たること異論の餘地なしと言ひ、斯る事實あるを以つて凡ゆる手段及びあらゆる時期に於て、縱令滿洲が獨立して居たとするも、滿洲は依然支那の完全なる一都であるとし、次で滿洲に於ける

聯盟を脱退したら

××……我が政府の見解……

處によると、從來腰刀軍部により主張された聯盟脱退の必要説は、最近急轉せる聯盟の情勢と共に俄然轉向、脱説に好軍を演(二十五日)

對米感情

南洋諸島の委任統治權は依然之を有するものである、蓋し右の島嶼は戦争によつて日本が獲得したものであるからと

最近大角海相が各電報通信社表者を引見し、時局に關し大左の如く聲明した

最近日本の對米感情は、從來太平洋集中せられた感傷偏激が各異動也

代表激勵

十六日の夜、放浪の 國、國聯盟主に
本代表が今日迄執り來たれる 態
度、に對し滿腔の謝意を表し、尙
今後とも帝國の既定方針に従つ
て極東平和の爲め一路邁進する
標との激勵の決議を滿場一致で
可決、直に之を齎す日本代表宛
打電した(東京廿七日)

なかつた、然しながら北米大陸の大
洋群衆で日本國民が不安の念に捉は
れ、人事の興奮を惹き起したなど云ふ
は事實無根なもので之を打消すこと
ど全く無用なことと思ふ、斯く興奮
の風評は、全く人氣集めに夢中の
地新聞の機嫌なき報道に起因してあ
ものである即ち米海軍がアリユシ
ン群島に飛行場建設を計畫中であ

激昂せる群衆

米館事務所より
去る廿五日在横濱北米合衆國總領事館へ多数の激昂せる群衆が押しかけ不穩の舉に出でんとせしが急を聞いて馳つけた警官に

首圖であることは事實であり、日本の報道據し乍ら、別に之を意として居ない、乍然、日本國民としては、勿論斯る設備は何を目ざして行はるゝのなりやと問はざるを得ないのであ

山海關に駐屯し

本政府は山海關に駐屯中であ
た日本軍隊の撤退を命じた、
同也于爾家として五百名の
事務總長ドラモンド氏に對し
本月廿六日日本軍航空隊は熱河
開魯附近に於て二時間餘に亘り
爆撃を敢行し、開魯は完全な火

英より武器輸入

本が日滿議定書に依り、滿洲
治安維持に當る様になつたが
（壽府廿八日）

た機關銃は九百挺餘に上つて
ると言はれてゐる、右の武器
満洲政府に引渡
てゐる

出に付ては英通商局の特許證を要し、同局で最近發表してゐるところによると、去る十一月の輸出許可を覓たる日本向省の愛理市は今國正式に露國官憲より滿洲國政府に引渡され、

事實無根

用のケース拾萬發に上り、何等の英國の製造工業上、何れも英國の製造工業上、好影響を與へてゐると傳へる旨を發表した(倫敦廿六日丑)

ソ政府は否定

マイト十一萬二百二十一封度
火線二萬二千〇四十七本に上
てゐると(倫敦廿三日)

聯盟以信賴

に於ては、蔣介石、張學良其の進出を抑服せんとするものと、

之が處理に當るに於ては支

100

櫻井忠温氏著

支那兵か馬賊か

吉林にて

銃剣は耕すより(十四)

2、三不知

孫中山氏は、十五年もの軍服生活をしたのだそうだが、負傷のために職を解かれて公安局に据へられ、警察官の方へ鞍登したのだそうである。

「張學良はどうかい」
「張學良は、金をひたたくて人民を困らしてゐるばかりだ、張作相はあれでも學良よりましだよ、ニコノシたい、爺さんだよ」
「張學良はそんなに金をソンドくるかい」
「金がいりて誰からでも絞上げるよ、税金でも百倍にでも二倍にでもするよ」

「君は日本兵と支那兵との戦争を見てどう思ふかね」
「自分の家に強盗が入つたとする、窓を壊され、茶碗を壊される……」
「ちよつと待つてくれ、その強盗とは何だい」
「支那兵のことを云ふのだよ」
「その強盗がどうして」
「その強盗を追つたために、大きな喧嘩をしなけりやならんよ、命を捨てんけりやならんよ、自分でやらうとすると、今日五、十圓でやれるものが、千圓もかゝるといつたやうなものだよ」
「どうも君のいふことは見當がはづれてゐないかん、日本兵と支那兵との戦争振りで何か感じることがあるだらう、と訊いてゐるのだ」
「日本兵が大掃除をしてくれるので、今は困つても先のことを思ふと感謝してゐると思ふのだよ」

「學良が逃げるよとすると、差當り何處へ行くのだらう」
「ジュネグに大きな屋敷を建てゝゐるといふことだよ」
「今のうちに逃げるならよし、」

「大ぶん金を持つてゐるんだらうね」
「わからん、自分でもいくらあるか知らない、張學良に三不知の三つを知らないと」
「三つを知らないと」
「金がいりてゐるか知らん、二には自分の軍隊がいりてゐるか知らん、三には自分の夫人が何人あるか知らん」
「張學良も三不知かね、夫人は二人しかいないといふ話だが」
「學良も夫人は何人あるかわからんよ、二十四五人はあるだらうよ」

「學良の金はどこに預けてゐるのかい」
「だいたい外國に預けてゐるよ、奉天のアメリカ銀行だ、けにでも五千萬圓からの預金があるよ」
「學良が逃げるよとすると、差當り何處へ行くのだらう」
「ジュネグに大きな屋敷を建てゝゐるといふことだよ」
「今のうちに逃げるならよし、」

「學良が逃げるよとすると、差當り何處へ行くのだらう」
「ジュネグに大きな屋敷を建てゝゐるといふことだよ」
「今のうちに逃げるならよし、」

FOTOPIC
S. PAULO - RUA SAO BENTO, 45
REVELACOES - COPIAS
FILMS - AGFA - KODAK - ZEISS
LINDOS CARTOES POSTAIS DA CIDADE
ADAPTAÇÃO DE OCULOS

慢性肺病 根治スル針灸
スナール電氣療法ニ神效
痛婦人等
三月九日七日街八〇
川原物理療法
(下矢工所ノ前)

和文の活版印刷
優秀の絶対廉價
サンジヨゼ印刷所

出でたり!!
日本の快雑誌
大富

一目見て誰でもビックリする大奮發!
優に壹圓以上の大附録を淹れ贈呈
外国映画人氣形寫真大鑑
一頁一人の大判寫真、世界映画界の男女名優百二十名登場!!
妖美風流活人劍 胡堂村
劍俠坂本龍馬 三上於菟吉
現代善は滅びず 佐藤
悲恋慕吹雪 佐藤
仇討 佐藤
天下ふれり若様 長三
御免死 長三
決死 長三
熱血 長三
毒蛇の女王 小泉
英雄美現代人物講談 庄一郎
山縣公貞子夫人 渡邊
鎮西の大吉田磯吉 四郎
拳闘王渡邊勇次郎 松本
新連載任侠小説、村上六先生大力作!
探偵死の密約 藤田
小説伊達事變 藤田
小説地に爪跡を残す 藤田
小説蒼眸黒眸 寛池
右の外漫談、落語、名記事、感動物語
行發社談講會雄雄本日大